

現道交通規制における安全管理について

長野県土木施工管理技士会

吉川建設株式会社 土木部

監理技術者

村 澤 俊

Shun Murasawa

1. はじめに

本工事は、国土交通省中部地方整備局飯田国道事務所発注の、飯田維持出張所管内における国道153号線の、老朽化や凍結防止材等により傷んだ橋を補修する工事です。

工事箇所は、長野県下伊那郡平谷村から飯田市までの区間の、萱の橋、一之橋、第1新谷橋、貝立橋、第2三階橋、大野橋の計6橋です。

工事概要

- (1) 工 事 名：平成21年度 153号阿智地区
橋梁補修工事
- (2) 発 注 者：国土交通省 中部地方整備局
飯田国道事務所
- (3) 工事場所：長野県下伊那郡平谷村～飯田市
- (4) 工 期：平成22年3月11日～
平成22年12月28日

2. 現場における問題点

6橋のうち大野橋においては、路面切削・オーバーレイと橋面防水があり、現在供用中の国道での作業となります（図-1）。

国道153号線は幹線道路であり、交通量も多いことから、全面通行止による作業ができないため、片側交互通行による交通規制を行い、一般車両の通行の安全を確保しながら工事を行う必要がありました。また、規制時間が8：30から17：00に定



図-1 大野橋全景

められており、規制解除の時間に間に合わせるため、限られた時間内で作業を終了させる必要がありました。

3. 工夫・改善点と適用結果

一般車両の通行の安全の確保という課題に対し、以下の対策を行うことにしました。

- ①工事区間への一般車両の進入を防ぐため、工事区間と通行区間の表示を分かりやすくするため、カラーコーンを多く使用する。また、トンネル内においては、視認性を良くするため、カラーコーンに赤色灯を追加設置する（図-2）。
- ②一般車両が規制車に突っ込んだ場合に交通誘導員の身を守るため、クッションドラムと合せてデルタガードを設置する（図-3）。



図-2 トンネル内保安施設設置状況



図-3 保安施設設置状況

③工事車両の規制内への出入りの際は交通誘導員の誘導により、安全なタイミングで出入りを行う(図-4)。



図-4 交通誘導員配置状況

④工事標識設置箇所については、一般車両の困惑を避けるため、隣接する工事と調整を行い設置する。

これら四つの事項を、作業前の打合せ時に作業員と必ず確認し合い、作業に入りました。さらに、作業中の午前、午後に看板やカラーコーンの設置状況、交通誘導の状況を巡視し、打合せ通り

きているか確認しました。不備な点は、その場で指導し、即、是正させるとともに、記録に書きとめ、次の朝の打合せ時に全員に是正事項の周知を図りました。

限られた時間内で作業を終了させるための対策として、次の日の作業のタイムスケジュールの作成を、作業終了後、職長を交えて行いました。タイムスケジュールは、10分単位で作成し、朝の打合せ時には、作業員全員への周知を図りました。職長は作業の進捗状況を管理し、20分以上の遅れが生じた場合は、元請へ連絡することにし、作業の範囲を再検討するなどの対応をとる計画としました。

安全に対しては、作業中の不備などを、しつこく周知する事で、作業員の意識が、だんだんと変わってきたように思います。工事最後のほうでは、指摘する不備が無くなり、規制における事故・苦情は無く工事を施工できました。

また、タイムスケジュール通りに作業することに関しては、非常に難しいことが実感させられました。当初は計画に時間的な余裕をあまり見込まなかったため、ほとんど付きっきりで管理するような状況となってしまいました。何度か繰り返すことで、要領が掴めてきた面があります。次回からの工事に生かしていきたいと思います。

4. おわりに

今回の工事では、作業員自身の安全はもとより、第三者の安全の確保が特に求められる工事でした。対策における設備は一般的なものでしたが、『設備の設置や誘導などを計画通りに行う』ということで、安全意識の向上を図りました。事故を起さないためには、安全意識というものが重要だと思います。

作業を効率よく進めるための段取りや、時間的な目論見は、経験を積むことが大切だと実感させられました。

各自の安全意識の向上に努め、いつも『無事故・無災害』で工事が竣工できるように努力したいと思います。